



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University



# 2025 REPORT

令和7事業年度及び第4期中期目標期間に係る  
業務の実績に関する報告書の概要について

## 【目 次】

### I. はじめに

### II. 全ての定量的な評価指標の達成状況について

### III. ビジョンの達成状況について

---

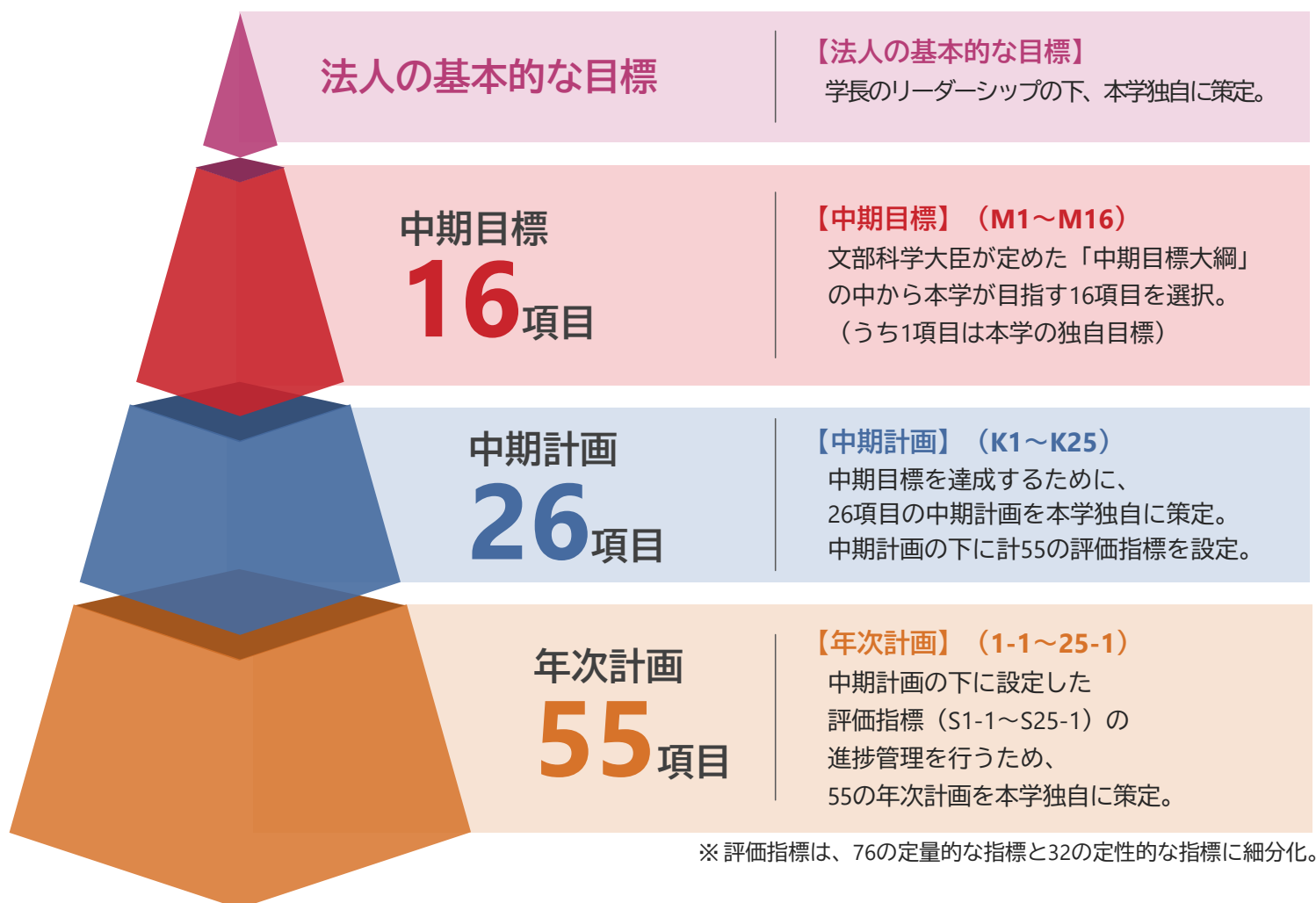
#### 【I.はじめに】

この項目では、本学の第4期中期目標・中期計画の全体像、  
及びこれらの目標・計画を踏まえて作成した「令和7年次計画」の概要や、  
令和4年度に発足した4機構・10研究所の概要について記載しています。

---

# 1. 本学の第4期中期目標・中期計画

## 【お茶の水女子大学の第4期中期目標・中期計画の体系図】



## 【年次計画55項目 全体の自己評価結果】

| 区分  | 判定             | 4年間の進捗<br>※残り2年間の見込み含 | R7単年度 | R6単年度 | R5単年度 | R4単年度 |
|-----|----------------|-----------------------|-------|-------|-------|-------|
| iii | 達成水準を大きく上回っている | 19件                   | 19件   | 18件   | 10件   | 11件   |
| ii  | 達成水準を満たしている    | 36件                   | 34件   | 32件   | 40件   | 37件   |
| i   | 達成水準を満たしていない   | 0件                    | 2件    | 4件    | 4件    | 6件    |

※年次計画の自己評価は、上記の三段階の区分によって判定を行っています。  
 ※令和7年3月に文部科学省への中期計画の変更申請が認可されたことに伴い、  
 令和7年度から年次計画が54項目から1項目増え、55項目となりました。

## 1. 本学の第4期中期目標・中期計画

【年次計画55項目 全体の自己評価結果 詳細（1/2）】

| No | 中期目標 | 中期計画  | 年次計画    | 年次計画の概要                                 | 4年間の自己評価 | R7単年度の自己評価 |
|----|------|-------|---------|-----------------------------------------|----------|------------|
| 1  | M1   | K1    | S1-1    | ジェンダード・イノベーション研究所の取組                    | iii      | ii         |
| 2  |      |       | S1-2    | ジェンダー研究所及びグローバルリーダーシップ研究所の取組            | iii      | iii        |
| 3  |      | K2    | S2-1    | ヒューマンライフィノベーション開発研究機構の取組                | iii      | iii        |
| 4  |      |       | S3-1    | SDGs推進研究所のTHEインパクトランキングに関する取組           | ii       | ii         |
| 5  |      | K3    | S3-2    | SDGs推進研究所のSDGs認知度調査に関する取組               | iii      | ii         |
| 6  |      |       | S3-3    | SDGs推進研究所の研究に関する取組                      | iii      | iii        |
| 7  |      |       | S3-4    | 湾岸生物教育研究所の教育関係共同利用拠点としての取組              | iii      | iii        |
| 8  |      |       | S3-5    | 湾岸生物教育研究所の研究に関する取組                      | ii       | ii         |
| 9  | M2   | K4    | S4-1    | 開発途上国における女子教育支援                         | ii       | iii        |
| 10 | M3   | K5    | S5-1    | コンピテンシー育成開発研究所のコンピテンシー測定ツール開発・値測定等の取組   | ii       | ii         |
| 11 |      |       | S5-2    | 理系女性育成啓発研究所の取組                          | iii      | iii        |
| 12 |      |       | S5-3    | サイエンス&エデュケーション研究所の取組                    | iii      | iii        |
| 13 |      | K6    | S6-1    | コンピテンシー育成支援システムの構築・利用促進                 | iii      | iii        |
| 14 |      | K7    | S7-1    | 統合データベースによるキャリア支援の推進                    | ii       | ii         |
| 15 |      | K8    | S8-1    | 日本文化に関する教養を醸成する教育プログラムの推進               | ii       | iii        |
| 16 |      |       | S8-2    | グローバル女性リーダー育成及びキャリアデザインに関する教育プログラムの推進   | ii       | iii        |
| 17 |      | K9    | S9-1    | 共創工学部の設置と教育の推進                          | ii       | ii         |
| 18 | M4   | K10   | S10-1   | （学士）文理融合リベラルアーツ、複数プログラム選択履修制度の推進        | ii       | ii         |
| 19 |      |       | S10-2   | （学士）数理・データサイエンス・AI教育プログラム、アントレプレナー科目の推進 | iii      | iii        |
| 20 |      | K11   | S11-1   | （学士）新フンボルト入試に関する取組                      | ii       | ii         |
| 21 |      |       | S11-2   | （学士）オープンキャンパス及び高大接続教育の取組                | ii       | ii         |
| 22 | M5   | K12-1 | S12-1-1 | （修士）学士・修士一貫トラック、大学院副専攻プログラムの推進          | ii       | ii         |
| 23 |      |       | S12-1-2 | （修士）インターンシップの推進                         | iii      | ii         |
| 24 |      | K12-2 | S12-2-1 | （修士）共創工学専攻の設置と教育の推進                     | ii       | ii         |
| 25 | M6   | K13   | S13-1   | （博士）次世代研究者挑戦的研究プログラム等の推進                | iii      | iii        |
| 26 |      |       | S13-2   | （博士）自主協働研究（PBTs）科目の推進                   | ii       | ii         |
| 27 | M7   | K14   | S14-1   | リカレント教育の推進                              | ii       | iii        |

※自己評価 「iii」：達成水準を大きく上回っている 「ii」：達成水準を満たしている 「i」：達成水準を満たしていない。

## 1. 本学の第4期中期目標・中期計画

【年次計画55項目 全体の自己評価結果 詳細（2/2）】

| No | 中期目標 | 中期計画 | 年次計画  | 年次計画の概要                                | 4年間の自己評価 | R7単年度の自己評価 |
|----|------|------|-------|----------------------------------------|----------|------------|
| 28 | M8   | K15  | S15-1 | 海外大学との大学間交流協定の拡大                       | ii       | ii         |
| 29 |      |      | S15-2 | 日本人学生の留学促進                             | ii       | ii         |
| 30 |      |      | S15-3 | 日本人学生の外国語力スタンダード拡大の取組                  | ii       | ii         |
| 31 |      |      | S15-4 | 日本人学生に対する国際交流プログラムの推進                  | iii      | ii         |
| 32 |      | K16  | S16-1 | 外国人留学生の留学生同窓会拡大の取組                     | iii      | ii         |
| 33 |      |      | S16-2 | 外国人留学生の受入促進                            | ii       | ii         |
| 34 |      |      | S16-3 | 外国語で開講する授業拡大の取組                        | ii       | ii         |
| 35 |      |      | S16-4 | 外国人留学生に対する国際交流プログラムの推進                 | iii      | iii        |
| 36 | M9   | K17  | S17-1 | 多様な学生への支援                              | ii       | ii         |
| 37 | M10  | K18  | S18-1 | 全教員及び教授職の女性比率向上                        | ii       | i          |
| 38 |      |      | S18-2 | ライフスタイルに応じた研究支援の推進                     | ii       | ii         |
| 39 |      |      | S18-3 | クロスアポイントメント制度の拡大                       | ii       | ii         |
| 40 | M11  | K19  | S19-1 | 附属学校園の教材・論文データベースの推進                   | iii      | iii        |
| 41 |      |      | S19-2 | 附属学校園での教育実習の推進                         | ii       | iii        |
| 42 | M12  | K20  | S20-1 | 経営協議会や有識者と学長及び執行部の懇談会の開催               | ii       | ii         |
| 43 |      |      | S20-2 | 経営協議会学外委員の提言活用                         | ii       | iii        |
| 44 |      |      | S20-3 | 人事制度改革や人材養成方針等の策定と推進                   | ii       | ii         |
| 45 |      | K21  | S21-1 | 役職者への女性の登用促進                           | ii       | i          |
| 46 | M13  | K22  | S22-1 | キャンパスマスタープランに基づくエネルギーマネジメント（co2排出量の低減） | iii      | ii         |
| 47 |      |      | S22-2 | 全学的な施設マネジメントの推進                        | ii       | ii         |
| 48 | M14  | K23  | S23-1 | 自己収入確保の取組                              | iii      | iii        |
| 49 |      |      | S23-2 | 大学の将来構想に基づいた機能強化を行うための資源配分             | ii       | ii         |
| 50 | M15  | K24  | S24-1 | 中期目標・中期計画の自己点検・評価                      | ii       | ii         |
| 51 |      |      | S24-2 | 中期目標・中期計画の外部評価                         | ii       | ii         |
| 52 |      |      | S24-3 | ステークホルダーに対する教育研究の成果、社会貢献等の情報発信         | ii       | ii         |
| 53 |      |      | S24-4 | 教員個人活動評価の推進                            | ii       | ii         |
| 54 | M16  | K25  | S25-1 | 業務のデジタル化促進                             | iii      | iii        |
| 55 |      |      | S25-2 | 情報セキュリティ強化の取組                          | ii       | ii         |

## 2. 令和7年次計画及び実績の概要

### 法人の基本的な目標（第4期中期目標・中期計画前文）

ミッション：学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する。

ビジョン：「総合知を持ち社会を革新する人材の養成」「持続可能な社会実現のための研究推進」  
「女性が活躍できる社会の実現」

### 教育【27計画】

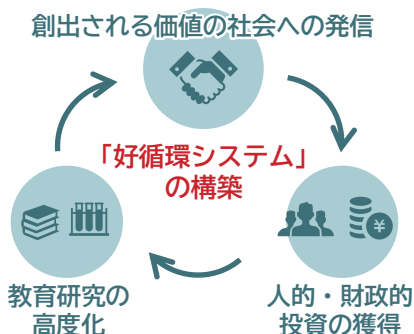
- 総合知開発研究機構の取組
- 共創工学部設置に向けた取組
- 入試に関する取組
- 学部・大学院教育の充実
- 国際交流に関する取組

### 附属学校【2計画】

- 大学と附属学校園の連携強化
- 総合知育成モデルの探究
- お茶の水女子大附属学校園教材・論文データベースによる成果発信

### 社会との共創【9計画】

- グローバル女性リーダー育成研究機構の取組
- ヒューマンライフィノベーション開発研究機構の取組
- サステナブル社会実装機構の取組



### 研究【3計画】

- 女性教員比率・女性教授比率の維持・向上
- 多様な研究者への支援
- クロスアポイントメント制度を活用した研究者交流

### 業務運営【14計画】

- ステークホルダーとの共創
- 施設マネジメント
- 大学の自己収入の強化
- 自己点検・評価体制の確立
- 業務の効率化・高度化

第4期中期目標期間（令和4～9年度）の4年目である令和7年度においては、  
上記の構想・取組をさらに加速させるため、教育・研究に関する取組を社会へ広く発信した。

### 創立150周年記念式典

令和7年度に創立150周年を迎え、11月29日の本学創立記念日に、創立150周年記念式典「未来につなぐ」を講堂「福音堂」で、対面・オンライン配信のハイブリッド形式で開催しました。



学長式辞



講堂全景

### 令和7年度に社会発信した事例



令和8年度から教育を開始する大学院博士前期課程「共創工学専攻」に関する情報発信を行いました。

#### ジェンダー・イノベーション入門



令和5年度から開講している東京大学・東北大学との連携授業「ジェンダー・イノベーション入門」が書籍になりました。ジェンダー・イノベーションの基礎について学び、考えるための1冊です。

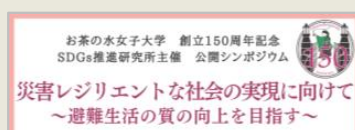


受験生や企業、社会一般のステークホルダーに向け、本学のさまざまな分野で活躍する研究者を紹介する情報発信ページ「Research Stories」を始動しました。



コンピテンシー育成開発研究所が進めてきた大学におけるコンピテンシー・ベース教育推進のための教育

手法の開発・実践・検証などの成果を広く共有し、今後の大学教育のありかたを展望することを目的にシンポジウムを開催しました。

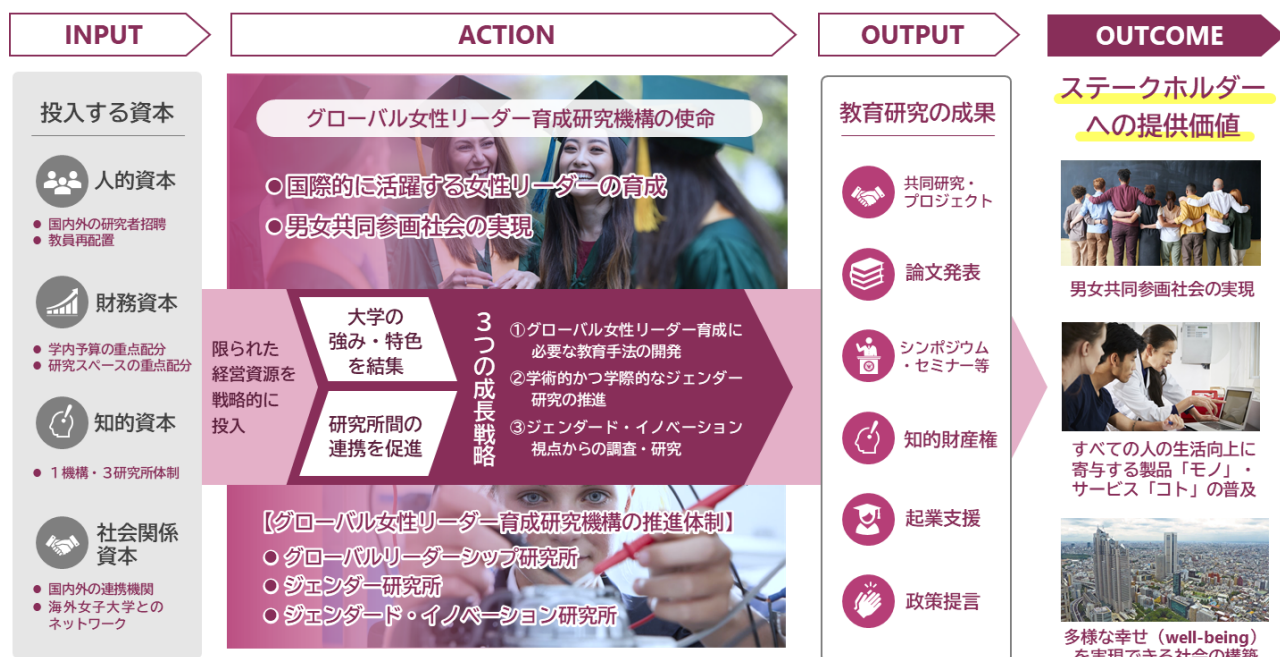


東京ガス株式会社共催、日本工営株式会社・埼玉大学協力のシンポジウムを開催、活発な議論が行われました。

# 3. 令和4年度に発足した4機構・10研究所の概要（価値創造プロセス）（1/2）

## ①グローバル女性リーダー育成研究機構 関連計画：1-1、1-2

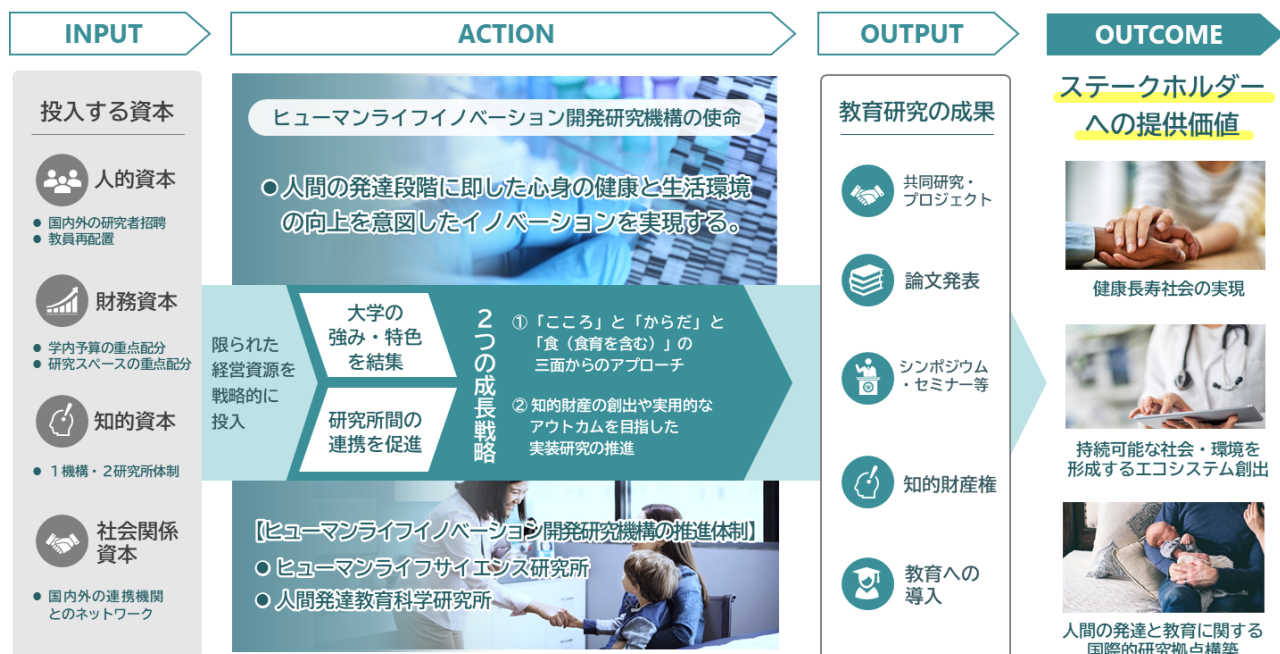
（グローバルリーダーシップ研究所、ジェンダー研究所、ジェンダード・イノベーション研究所）



教育研究成果の積極的な発信により、社会から新たな人的・財政的投資を呼び込む好循環モデルを形成

## ②ヒューマンライフイノベーション開発研究機構 関連計画：2-1

（ヒューマンライフサイエンス研究所、人間発達教育科学研究所）



教育研究成果の積極的な発信により、社会から新たな人的・財政的投資を呼び込む好循環モデルを形成

### 3. 令和4年度に発足した4機構・10研究所の概要（価値創造プロセス）（2/2）

#### ③サステナブル社会実装機構 関連計画：3-1~3-5

（SDGs推進研究所、湾岸生物教育研究所）



#### ④総合知開発研究機構 関連計画：5-1~5-3、6-1、7-1、8-1

（コンピテンシー育成開発研究所、理系女性育成啓発研究所、サイエンス&エデュケーション研究所）



## 【目 次】

### I. はじめに

### II. 全ての定量的な評価指標の達成状況について

### III. ビジョンの達成状況について

---

#### 【II.全ての定量的な評価指標の達成状況について】

この項目では、本学の第4期中期計画に設定された55の評価指標（S1-1~S25-1）について、76の定量的な評価指標と、32の定性的な評価指標に細分化したうえで、全76の定量的な評価指標の達成状況について記載しています。

---

## Ⅱ. 全ての定量的な評価指標の達成状況について(1/10)

【凡例】 ■：社会との共創に関する目標・計画 ■：教育に関する目標・計画 ■：研究に関する目標・計画  
■：附属学校に関する目標・計画 ■：業務運営に関する目標・計画

※  については、令和7年度時点で進捗が遅れていることを示す。

なお、達成時期を「第4期平均」「毎年度」と設定している指標は「令和7年度時点での平均値」をもとに達成度を確認。

### (1)評価指標【S1-1】



ジェンダード・イノベーション研究所における共同研究・プロジェクト数

R7単年度実績

**10**件/目標1件

4年間の進捗(R4-R7合計)

計**33**件

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに計**6**件

### (2)評価指標【S1-1】



ジェンダード・イノベーション研究所における論文発表数

R7単年度実績

**11**本/目標4本

4年間の進捗(R4-R7合計)

計**21**本

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに計**20**本

### (3)評価指標【S1-1】



ジェンダード・イノベーション研究所における知的財産権の申請件数

R7単年度実績

**0**件/目標1件

4年間の進捗(R4-R7合計)

計**2**件

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに計**2**件

### (4)評価指標【S1-1】



ジェンダード・イノベーション研究所における起業支援の件数

R7単年度実績

**0**件/目標1件

4年間の進捗(R4-R7合計)

計**2**件

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに計**2**件

### (5)評価指標【S1-2】



ジェンダー研究所及びグローバルリーダーシップ研究所における共同研究・プロジェクト数

R7単年度実績

**11**件/目標5件

4年間の進捗(R4-R7平均)

**11**件

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**5**件

### (6)評価指標【S1-2】



ジェンダー研究所及びグローバルリーダーシップ研究所における国内外からの研究者招聘数

R7単年度実績

**22**名/目標10名

4年間の進捗(R4-R7平均)

**20**名

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**10**名

### (7)評価指標【S1-2】



ジェンダー研究所及びグローバルリーダーシップ研究所におけるシンポジウム等開催数

R7単年度実績

**17**件/目標8件

4年間の進捗(R4-R7平均)

**17**件

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**8**件

### (8)評価指標【S1-2】



ジェンダー研究所及びグローバルリーダーシップ研究所における論文発表数

R7単年度実績

**20**本/目標10本

4年間の進捗(R4-R7合計)

計**58**本

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに計**60**本

## Ⅱ. 全ての定量的な評価指標の達成状況について(2/10)

【凡例】 ■：社会との共創に関する目標・計画 ■：教育に関する目標・計画 ■：研究に関する目標・計画  
■：附属学校に関する目標・計画 ■：業務運営に関する目標・計画

※  については、令和7年度時点で進捗が遅れていることを示す。

なお、達成時期を「第4期平均」「毎年度」と設定している指標は「令和7年度時点での平均値」をもとに達成度を確認。

### (9)評価指標【S2-1】



ヒューマンライフイノベーション開発研究機構における共同研究・プロジェクト数、外部資金獲得額

R7単年度実績

42件, 1.4億円  
/目標30件, 6千万円

4年間の進捗(R4-R7平均)

39件, 1.5億円

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度30件, 6千万円

### (10)評価指標【S3-1】



THE  
インパクト  
ランキングのうち  
SDG5の順位

重点  
指標

R7単年度実績

※現時点で未発表  
/目標100位以内

4年間の進捗  
(R6までの最高順位)

101-200位

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに100位以内

### (11)評価指標【S3-3】



SDGs推進研究所に  
おける共同研究・  
プロジェクト数  
外部資金獲得額

R7単年度実績

4件, 655万円  
/目標2件, 600万円

4年間の進捗(R4-R7合計)

計14件, 2,079万円

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに計12件, 3,000万円

### (12)評価指標【S3-3】



SDGs推進研究所に  
おける知的財産権  
の申請件数

R7単年度実績

4件/目標1件

4年間の進捗(R4-R7合計)

計7件

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに計3件

### (13)評価指標【S3-4】



湾岸生物教育研究所  
における  
オーダーメイド型  
臨海実習の実施数

R7単年度実績

11回, 134名  
/目標6回, 80名

4年間の進捗(R4-R7平均)

11回, 134名

6年間の計画(R4-R9目標)

第4期平均6回, 80名

### (14)評価指標【S3-4】



湾岸生物教育研究所  
における  
公開臨海実習の  
実施

R7単年度実績

25大学, 31名  
/目標14大学, 20名

4年間の進捗(R4-R7平均)

20大学, 31名

6年間の計画(R4-R9目標)

第4期平均14大学, 20名

### (15)評価指標【S3-4】



湾岸生物教育研究所  
における  
高校生等を対象と  
した実習等の実施数

R7単年度実績

13回, 317名  
/目標11回, 275名

4年間の進捗(R4-R7平均)

13回, 330名

6年間の計画(R4-R9目標)

第4期平均10回, 250名

### (16)評価指標【S3-4】



湾岸生物教育研究所  
における  
海産バイオリソース  
の提供数

R7単年度実績

160機関, 14,364名  
/目標100機関, 10,000名

4年間の進捗(R4-R7平均)

223機関, 19,265名

6年間の計画(R4-R9目標)

第4期平均100機関, 10,000名

## Ⅱ. 全ての定量的な評価指標の達成状況について(3/10)

【凡例】 ■：社会との共創に関する目標・計画 ■：教育に関する目標・計画 ■：研究に関する目標・計画  
 ■：附属学校に関する目標・計画 ■：業務運営に関する目標・計画

※  については、令和7年度時点で進捗が遅れていることを示す。

なお、達成時期を「第4期平均」「毎年度」と設定している指標は「令和7年度時点での平均値」をもとに達成度を確認。

### (17)評価指標【S3-5】



湾岸生物教育研究所  
における論文数

R7単年度実績

12本/目標10本

4年間の進捗(R4-R7平均)

11本

6年間の計画(R4-R9目標)

第4期平均10本

### (18)評価指標【S3-5】



湾岸生物教育研究所  
における学会発表数

R7単年度実績

47件/目標10件

4年間の進捗(R4-R7平均)

30件

6年間の計画(R4-R9目標)

第4期平均10件

### (19)評価指標【S4-1】



アジア・アフリカ  
の教育者・行政官  
等に対する研修の  
受講者数

R7単年度実績

12名/目標9名

4年間の進捗(R4-R7合計)

計48名

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに計55名

### (20)評価指標【S5-2】



理系女性育成啓発  
研究所における  
シンポジウム・  
セミナー等の  
参加者数

R7単年度実績

1,526名/目標800名

4年間の進捗(R4-R7平均)

1,510名

6年間の計画(R4-R9目標)

第4期平均800名

### (21)評価指標【S5-2】



理系女性育成啓発  
研究所が実施する  
アンケート調査に  
おける理工系分野  
への関心

R7単年度実績

93.1%/目標70%

4年間の進捗(R4-R7平均)

93.9%

6年間の計画(R4-R9目標)

第4期平均70%

### (22)評価指標【S5-3】



サイエンス&  
エデュケーション  
研究所が実施する  
理数教育の実践数  
(自治体・学校)

R7単年度実績

39件, 141校  
/目標25件, 105校

4年間の進捗(R4-R7平均)

36件, 131校

6年間の計画(R4-R9目標)

第4期平均25件, 105校

### (23)評価指標【S5-3】



サイエンス&  
エデュケーション  
研究所が開発する  
コンテンツのDL数

R7単年度実績

1,557件/目標540件

4年間の進捗(R4-R7平均)

1,065件

6年間の計画(R4-R9目標)

第4期平均540件

### (24)評価指標【S6-1】



コンピテンシー  
育成支援システム  
を活用する学生  
の割合

R7単年度実績

77.9%/目標10%

4年間の進捗(R7実績)

77.9%

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに70%

## Ⅱ. 全ての定量的な評価指標の達成状況について(4/10)

【凡例】 ■：社会との共創に関する目標・計画 ■：教育に関する目標・計画 ■：研究に関する目標・計画  
 ■：附属学校に関する目標・計画 ■：業務運営に関する目標・計画

※  については、令和7年度時点で進捗が遅れていることを示す。

なお、達成時期を「第4期平均」「毎年度」と設定している指標は「令和7年度時点での平均値」をもとに達成度を確認。

### (25)評価指標【S7-1】



キャリア支援・  
キャリア相談の  
利用者数

R7単年度実績

**3,822**名/目標3,360名

4年間の進捗(R4-R7平均)

**3,974**名

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度延べ**3,360**名

### (26)評価指標【S8-1】



日本文化(伝統芸能)  
に関するセミナー・  
シンポジウム開催数

R7単年度実績

**6**件/目標4件

4年間の進捗(R4-R7平均)

**5**件

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**3**件

### (27)評価指標【S8-1】



日本文化(伝統芸能)  
に関するセミナー・  
シンポジウムの  
参加者の満足度

R7単年度実績

**99.2**%/目標80%

4年間の進捗(R4-R7平均)

**95.2**%

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**80**%

### (28)評価指標【S8-2】



グローバル女性  
リーダー育成に  
関する科目及び  
キャリアデザイン  
科目の履修者数

R7単年度実績

**659**名/目標450名

4年間の進捗(R4-R7平均)

**533**名

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**450**名

### (29)評価指標【S9-1】



共創工学部  
の志願者倍率

R7単年度実績

**3.29**倍/目標3倍

4年間の進捗(R5-R7平均)

**3.01**倍

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**3**倍  
※R5以降

### (30)評価指標【S9-1】



共創工学部  
における教育の  
総合満足度

R7単年度実績

**88.3**%  
/目標70%以上

4年間の進捗(R6-R7平均)

**88.3**%

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**70**%  
※R6以降

### (31)評価指標【S10-1】



リベラルアーツ科目  
と複数プログラム  
選択履修制度に  
対する満足度

R7単年度実績

リベラルアーツ 複数プログラム  
**92.1**% , **81.0**%  
/目標70%

4年間の進捗(R4-R7平均)

リベラルアーツ 複数プログラム  
**95.8**% , **84.5**%

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**70**%

### (32)評価指標【S10-2】



数理・データ  
サイエンス・AI教育  
プログラムの  
履修者数

R7単年度実績

**234**名/目標130名

4年間の進捗(R4-R7平均)

**187**名

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**130**名

## Ⅱ. 全ての定量的な評価指標の達成状況について(5/10)

【凡例】 ■：社会との共創に関する目標・計画 ■：教育に関する目標・計画 ■：研究に関する目標・計画  
■：附属学校に関する目標・計画 ■：業務運営に関する目標・計画

※  については、令和7年度時点で進捗が遅れていることを示す。

なお、達成時期を「第4期平均」「毎年度」と設定している指標は「令和7年度時点での平均値」をもとに達成度を確認。

### (33)評価指標【S10-2】



数理・データ  
サイエンス・AI教育  
プログラムにおける  
リテラシーレベル  
修了者数

R7単年度実績

**79**名/目標68名

4年間の進捗(R4-R7合計)

計**211**名

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに計**300**名

### (34)評価指標【S10-2】



アントレプレナー  
育成のための授業  
の履修者数

R7単年度実績

**117**名/目標35名

4年間の進捗(R4-R7平均)

**98**名

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**35**名

### (35)評価指標【S11-2】



附属高校生の  
大学授業の  
受講者数

R7単年度実績

**71**名/目標60名

4年間の進捗(R4-R7合計)

計**304**名

6年間の計画(R4-R9目標)

R9まで延べ**360**名

### (36)評価指標【S12-1-1】



学士・修士一貫  
トラック修了生

R7単年度実績

**34**名/目標4名

4年間の進捗(R4-R7合計)

計**82**名

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに計**27**名

### (37)評価指標【S12-1-1】



大学院副専攻  
プログラム  
履修者数

R7単年度実績

**45**名/目標77名

4年間の進捗(R4-R7合計)

計**296**名

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに計**435**名

### (38)評価指標【S12-1-2】



博士前期課程学生の  
インターンシップ  
派遣企業数・人数

R7単年度実績

**31**件, **38**名  
/目標35件, 35名

4年間の進捗(R4-R7平均)

**33**件, **38**名

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度に**13**件, **20**名

### (39)評価指標【S13-1】



お茶大アカデミック  
プロダクション  
大学院フェローシップ  
の採用学生数

R7単年度実績

**23**名/目標20名

4年間の進捗(R4-R7平均)

**9**名

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**6**名

### (40)評価指標【S13-2】



自主協働研究科目  
(PBTS I・II)の  
履修者数

R7単年度実績

**13**名/目標7名

4年間の進捗(R4-R7平均)

**11**名

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**7**名以上

## Ⅱ. 全ての定量的な評価指標の達成状況について(6/10)

【凡例】 ■：社会との共創に関する目標・計画 ■：教育に関する目標・計画 ■：研究に関する目標・計画  
■：附属学校に関する目標・計画 ■：業務運営に関する目標・計画

※  については、令和7年度時点で進捗が遅れていることを示す。

なお、達成時期を「第4期平均」「毎年度」と設定している指標は「令和7年度時点での平均値」をもとに達成度を確認。

### (41)評価指標【S13-2】



博士後期課程の  
教育プログラム  
から派生した  
産学官連携件数

R7単年度実績

**1** 件/目標1 件

4年間の進捗(R4-R7合計)

計 **3** 件

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに計 **3** 件

### (42)評価指標【S13-2】



博士後期課程の  
教育プログラム  
から派生したシン  
ポジウム・ワーク  
ショップ等の件数

R7単年度実績

**1** 件/目標1 件

4年間の進捗(R4-R7合計)

計 **7** 件

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに計 **3** 件

### (43)評価指標【S13-2】



博士後期課程の  
教育プログラム  
から派生した  
知的財産権の  
申請件数

R7単年度実績

**0** 件/目標1 件

4年間の進捗(R4-R7合計)

計 **3** 件

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに計 **3** 件

### (44)評価指標【S14-1】



社会人女性のため  
のリカレント講座  
の受講者数

R7単年度実績

**178** 名/目標120名

4年間の進捗(R4-R7平均)

**266** 名

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度 **120** 名

### (45)評価指標【S15-1】



海外大学との  
大学間交流協定  
締結数

R7単年度実績

**97** 大学/目標96大学

4年間の進捗(R7実績)

計 **97** 大学

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに **100** 大学

### (46)評価指標【S15-2】



学部卒業時に  
留学経験を持つ  
学生の比率

R7単年度実績

**27.7**%/目標24%

4年間の進捗(R4-R7平均)

 **23.1**%

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度 **24**%

### (47)評価指標【S15-3】



学部卒業時に  
外国語力スタンダード  
を達成する学生の比率

R7単年度実績

**24.0**%/目標20%以上

4年間の進捗(R4-R7平均)

**20.1**%

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度 **20**%

### (48)評価指標【S15-4】



国際交流プログラム  
の件数・受講学生数  
(本学学生)

R7単年度実績

**14** 件, **536** 名  
/目標12件, 243名

4年間の進捗(R4-R7平均)

**21** 件, **538** 名

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度 **12** 件, **243** 名

## Ⅱ. 全ての定量的な評価指標の達成状況について(7/10)

【凡例】 ■：社会との共創に関する目標・計画 ■：教育に関する目標・計画 ■：研究に関する目標・計画  
 ■：附属学校に関する目標・計画 ■：業務運営に関する目標・計画

※  については、令和7年度時点で進捗が遅れていることを示す。

なお、達成時期を「第4期平均」「毎年度」と設定している指標は「令和7年度時点での平均値」をもとに達成度を確認。

### (49)評価指標【S16-1】



外国人留学生  
同窓会の会員数

R7単年度実績

**764**名/目標660名

4年間の進捗(R7実績)

計**764**名

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに**450**名

### (50)評価指標【S16-2】



全学生に占める  
外国人留学生比率

R7単年度実績

**14.5**%/目標14%

4年間の進捗(R4-R7平均)

 **12.2**%

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**14**%

### (51)評価指標【S16-3】



外国語で開講  
する授業数

R7単年度実績

**125**科目/目標110科目

4年間の進捗(R4-R7平均)

**127**科目

6年間の計画(R4-R9目標)

第4期平均**110**科目

### (52)評価指標【S16-4】



国際交流プログラムの  
件数・受講学生数  
(外国人学生)

R7単年度実績

**12**件, **740**名  
/目標3件, 135名

4年間の進捗(R4-R7平均)

**17**件, **653**名

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**3**件, **135**名

### (53)評価指標【S17-1】



学生懇談会  
実施数

R7単年度実績

**2**回/目標2回

4年間の進捗(R4-R7平均)

**2**回

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**2**回

### (54)評価指標【S17-1】



新学生宿舎における  
意見交換会実施数

R7単年度実績

**2**回/目標2回

4年間の進捗(R4-R7平均)

**2**回

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**2**回

### (55)評価指標【S18-1】



全教員に  
占める  
女性教員の比率

重点  
指標

R7単年度実績

**46.2**%/目標49%

4年間の進捗(R7実績)

 **46.2**%

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに**49**%以上

### (56)評価指標【S18-1】



教授職に  
占める  
女性教員の比率

重点  
指標

R7単年度実績

**42.3**%/目標40%

4年間の進捗(R7実績)

**42.3**%

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに**40**%以上

## Ⅱ. 全ての定量的な評価指標の達成状況について(8/10)

【凡例】 ■：社会との共創に関する目標・計画 ■：教育に関する目標・計画 ■：研究に関する目標・計画  
■：附属学校に関する目標・計画 ■：業務運営に関する目標・計画

※  については、令和7年度時点で進捗が遅れていることを示す。

なお、達成時期を「第4期平均」「毎年度」と設定している指標は「令和7年度時点での平均値」をもとに達成度を確認。

### (57)評価指標【S18-2】

 本学独自の  
研究支援3計画を  
利用した研究者数

R7単年度実績

**36名**/目標31名

4年間の進捗(R4-R7平均)

**36名**

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度延べ**31名**

### (58)評価指標【S18-3】

 クロスアポイント  
メント制度利用者  
数(本学採用者)

R7単年度実績

**9名**/目標8名

4年間の進捗(R7実績)

**9名**

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに計**10名**

### (59)評価指標【S19-1】

 附属学校園教材・  
論文データベース  
の記載件数・  
利用者数

R7単年度実績

**111件, 4,456名**  
/目標52件, 1,500名

4年間の進捗(R4-R7平均)

**98件, 3,484名**

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**52件, 1,500名**

### (60)評価指標【S19-1】

 附属学校園における  
シンポジウム・  
セミナー等実施数

R7単年度実績

**16件**/目標4件

4年間の進捗(R4-R7平均)

**13件**

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**4件以上**

### (61)評価指標【S19-2】

 附属学校園における  
教育実習生の受入数

R7単年度実績

**128名**/目標100名

4年間の進捗(R4-R7平均)

**113名**

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**100名**

### (62)評価指標【S19-2】

 附属学校園における  
インターンシップ  
受入数

R7単年度実績

**69名**/目標35名

4年間の進捗(R4-R7平均)

**51名**

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**35名**

### (63)評価指標【S19-2】

 附属学校園を活用した  
大学教員のFD件数

R7単年度実績

**10回**/目標3回

4年間の進捗(R4-R7平均)

**6回**

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**3回**

### (64)評価指標【S19-2】

 FDを通じて大学と  
附属学校の連携に  
関する意識向上及び  
授業改善に活かすこと  
ができたとする割合

R7単年度実績

**83.9%**/目標80%

4年間の進捗(R4-R7平均)

**84.0%**

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**80%**

## Ⅱ. 全ての定量的な評価指標の達成状況について(9/10)

【凡例】 ■：社会との共創に関する目標・計画 ■：教育に関する目標・計画 ■：研究に関する目標・計画  
 ■：附属学校に関する目標・計画 ■：業務運営に関する目標・計画

※  については、令和7年度時点で進捗が遅れていることを示す。

なお、達成時期を「第4期平均」「毎年度」と設定している指標は「令和7年度時点での平均値」をもとに達成度を確認。

### (65)評価指標【S20-1】



経営協議会  
開催数

R7単年度実績

4回/目標4回

4年間の進捗(R4-R7平均)

4回

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度4回

### (66)評価指標【S20-1】



学長特別顧問など  
有識者と学長及び  
法人執行部との  
話し合いの場の数

R7単年度実績

4回/目標4回

4年間の進捗(R4-R7平均)

5回

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度4回

### (67)評価指標【S20-2】



経営協議会の  
学外委員からの提言  
の中で法人経営や  
大学改革ビジョン  
に活用した数

R7単年度実績

8件/目標4件

4年間の進捗(R4-R7平均)

5件

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度4件

### (68)評価指標【S21-1】



役職者全体に  
占める女性の比率

R7単年度実績

47.9%/目標50%

4年間の進捗(R7実績)

 47.9%

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに50%以上

### (69)評価指標【S21-1】



経営協議会委員に  
占める女性の比率

R7単年度実績

52.6%/目標52%

4年間の進捗(R7実績)

52.6%

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに52%以上

### (70)評価指標【S22-1】



CO2排出量の  
低減率

R7単年度実績

65.8%/目標65.4%削減

4年間の進捗(R4-R7平均)

66.1%

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までにR2年度比8%削減

### (71)評価指標【S23-1】



大学の自己収入額  
1)寄附金収入  
2)受託研究等収入  
3)その他収入の合計

R7単年度実績

19.5億円/目標12.5億円

4年間の進捗(R4-R7平均)

18.2億円

6年間の計画(R4-R9目標)

第4期平均12.7億円

### (72)評価指標【S23-2】



機能強化すべき  
組織、取組に  
対する予算配分額

R7単年度実績

3.7億円/目標3.5億円

4年間の進捗(R4-R7平均)

3.7億円

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度3.5億円

## Ⅱ. 全ての定量的な評価指標の達成状況について(10/10)

【凡例】 ■：社会との共創に関する目標・計画 ■：教育に関する目標・計画 ■：研究に関する目標・計画  
■：附属学校に関する目標・計画 ■：業務運営に関する目標・計画

※  については、令和7年度時点で進捗が遅れていることを示す。

なお、達成時期を「第4期平均」「毎年度」と設定している指標は「令和7年度時点での平均値」をもとに達成度を確認。

### (73)評価指標【S24-4】



教員個人活動評価  
における  
定量的評価の  
素点実績

R7単年度実績

**230.8**点/目標198点

4年間の進捗(R7実績)

**230.8**点

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに**201**点

### (74)評価指標【S24-4】



THE日本大学  
ランキング  
における順位

R7単年度実績

※ランキング廃止  
のため計測不能

/目標25位以内

4年間の進捗(R6実績)

**38**位

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに**25**位

### (75)評価指標【S25-1】



デジタル化された  
業務の数

R7単年度実績

**12**件/目標4件

4年間の進捗(R4-R7合計)

計**57**件

6年間の計画(R4-R9目標)

R9までに計**15**件

### (76)評価指標【S25-2】



情報セキュリティ  
向上のための  
研修の実施回数

R7単年度実績

**3**回/目標2回

4年間の進捗(R4-R7平均)

**3**回

6年間の計画(R4-R9目標)

毎年度**2**回

**総評：76の定量的な評価指標のうち72の指標が順調に達成・進捗。**

→ 定性的な評価指標の達成状況については、別添の「第4期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書」及び「中期目標の達成状況報告書」を参照。

## 【目 次】

### I. はじめに

### II. 全ての定量的な評価指標の達成状況について

### III. ビジョンの達成状況について

#### 【Ⅲ.ビジョンの達成状況について】

この項目では、本学の第4期中期目標・中期計画期間におけるビジョン計3つの達成状況について記載しています。

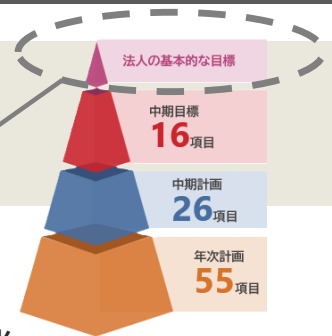
| 自己評価 | 第4期中期目標・中期計画期間における4年分（R4～R7）の達成状況／<br>第4期中期目標・中期計画期間（R4～R9）終了時までの達成状況見込を総合的に判断 |
|------|--------------------------------------------------------------------------------|
| S    | 大きく上回って達成している／大きく上回る達成が見込まれる                                                   |
| A    | 達成している／達成することが見込まれる                                                            |
| B    | おおむね達成している／達成に向けて進んでいる                                                         |
| C    | 達成が不十分である／達成が遅れており、改善の必要がある                                                    |
| D    | 達成できていない／達成するためには、重大な改善の必要がある                                                  |

## 【Ⅲ. ビジョンの達成状況について】

### 1. 法人としての基本的な目標

#### お茶の水女子大学の基本的な目標

#### 【本学の基本的な目標の整理】



■ p.2の体系図「法人の基本的な目標」に該当

#### ミッション (基本理念)

大切にしている考え、価値観。  
国立大学法人として果たすべき使命。

- 学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、  
真摯な夢の実現の場として存在する。
- 世界の女子高等教育充実・発展のための貢献

#### ビジョン

ミッションを達成・実現するため、  
第4期中期目標・中期計画期間に  
達成を目指すべき目標（将来像）

- 総合知を持ち社会を革新する人材の養成
- 持続可能な社会実現のための SDGs 研究の推進
- 女性が活躍できる社会の実現

#### 【各ビジョンの本文】

##### ■ 総合知を持ち社会を革新する人材の養成

学士課程と大学院博士課程との連携により、**教養知と専門知に実践知を結びつけるコンピテンシーを育成**し、それらを実装する総合知によって社会を革新する人材を養成するとともに、**附属学校園との協働を通じて大学入学前からの総合知育成モデルの探究**に努めます。

##### ■ 持続可能な社会実現のための SDGs 研究の推進

新型感染症拡大、気候変動、資源枯渇、人口動態激変等喫緊の課題の解決策を導き出すため、**研究・イノベーション拠点を構築し、文理を越え学問分野を融合した先端的研究を推進**することにより、SDGsの理念である「誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現」に努めます。

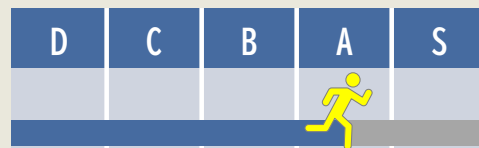
##### ■ 女性が活躍できる社会の実現

長年にわたるジェンダー及びグローバルリーダーシップに関する研究・教育・実践の蓄積を背景として、**日本におけるジェンダード・イノベーション研究の拠点を構築**し、その実績を基に、産学官が協働して、**ダイバーシティインクルージョン実現**のための社会貢献に努めます。

## 【Ⅲ. ビジョンの達成状況について】

### 2. 令和7年度時点でのビジョンの達成状況

#### 総合知を持ち社会を革新する人材の養成



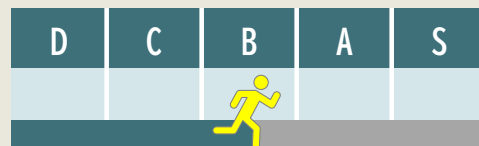
##### ビジョンの概要

- 学士課程と博士課程の連携により、教養知と専門知に実践知を結びつけるコンピテンシーを育成。
- 附属学校園と協働し、大学入学前からの総合知育成モデルを探究。

##### 自己評価結果【A】（達成している／達成することが見込まれる）

【理由】ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーの改正や、シラバスの改修、コンピテンシー育成支援システム「CACICA」の運用等により、コンピテンシー・ベースの教育改革を推進し、新たな取組（新ツールの運用や大学院での取組）も開始している。また、附属学校園との連携により、教材や指導案等の開発・発信や、段階的育成モデルの作成を進めた。今後の取組により、ミッション・ビジョンの優れた達成が十分に見込まれるため、自己評価を【A】と判定した。

#### 持続可能な社会実現のためのSDGs研究の推進



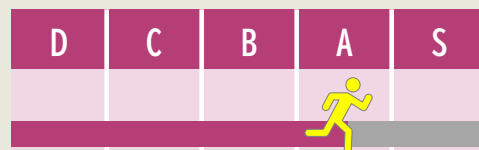
##### ビジョンの概要

- SDGsの理念の達成を目指す研究・イノベーション拠点の構築。
- SDGsに関する文理を越え、学問分野を融合した先端的研究の推進。

##### 自己評価結果【B】（おおむね達成している／達成に向けて進んでいる）

【理由】「SDGs推進研究所」と「湾岸生物教育研究所」に所属する研究者を中心に、SDGsの達成に資する研究と教育を活発に行っている。また、令和7年度は研究助成や啓発活動を特に推し進めた。これらの成果や実績を最大限に活用し、研究・イノベーション拠点構築と文理融合による先端的研究推進を達成するための具体的な計画を今後に進捗して行く段階であることから自己評価を【B】と判断した。

#### 女性が活躍できる社会の実現



##### ビジョンの概要

- 日本におけるジェンダード・イノベーション研究の拠点を構築
- ダイバーシティインクルージョン実現に向けた社会貢献

##### 自己評価結果【A】（達成している／達成することが見込まれる）

【理由】ジェンダード・イノベーション研究所を中心に産学交流会を開催することで民間企業等との関係構築に取り組んできた。また、研究実績をもとに内閣府SIP事業に採択されており、D&I社会の実現に向けた取組も進行している。令和7年度には、ジェンダードイノベーションにより社会課題解決に取り組む拠点として「産学官コンソーシアム」を設立し、社会実装に向け運用を開始している。今後の取組により、ミッション・ビジョンの優れた達成が十分に見込まれるため、自己評価を【A】と判定した。

国立大学法人お茶の水女子大学  
令和7事業年度及び第4期中期目標期間に係る  
業務の実績に関する報告書の概要について

作 成：企画戦略課（評価担当）  
作成日：令和8年6月